

LED 上下調光/調色タイプ ペンダントライト PLM6DL/DL-J PLM8DL/DL-J PLM12DL/DL-J

取扱説明書

取り付け可能な天井配線器具形状

天井からの出しろが22mm 角型、丸型引掛シーリング・ローゼット				天井からの出しろが11mm 埋込引掛ローゼット	
角型引掛 シーリング	丸型引掛 シーリング	フル引掛 ローゼット	丸型フル引掛 シーリング	埋込ローゼット (耳つき)	埋込ローゼット (耳なし)

下記への取り付けは工事店・電気店にご相談ください。

配線だけのもの	アウトレットボックスのもの

※電気工事士の資格が必要です。

保証書付

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保存してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ページ

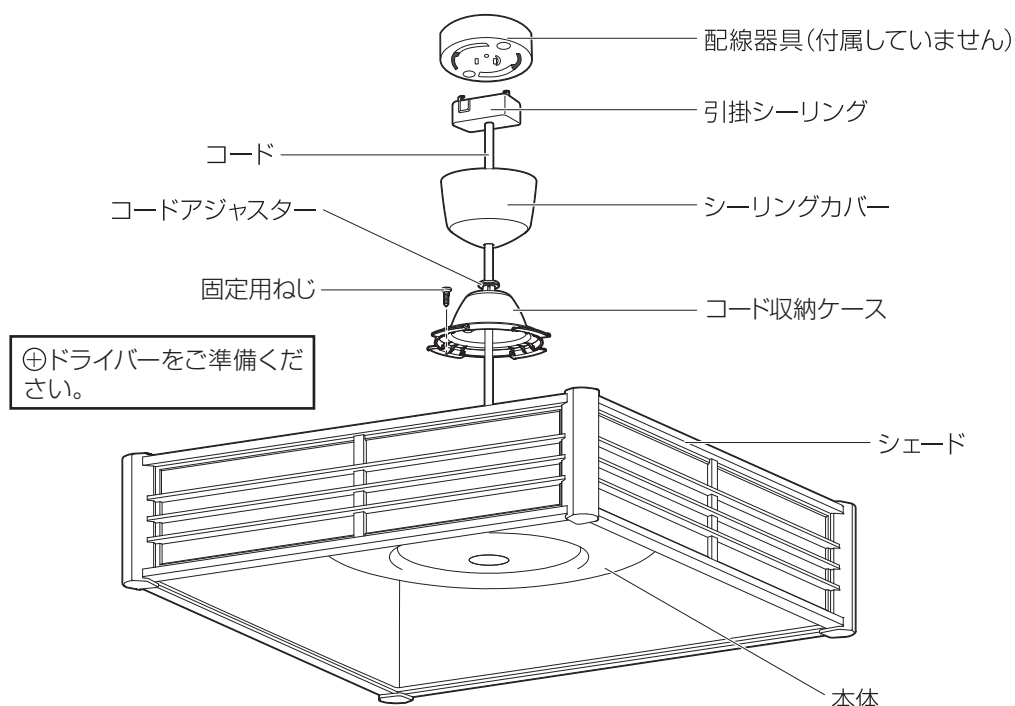
各部の名称	2
安全上の注意	5
取り付け	6
明かりをつける	8
お手入れについて	10
仕様	11
故障かな?と思ったら	11
保証とアフターサービス	裏表紙
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

各部の名称

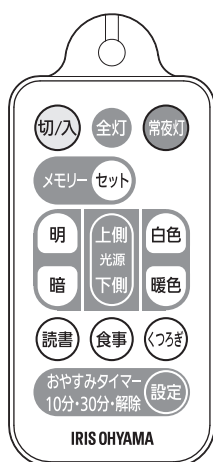
- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。

■本体



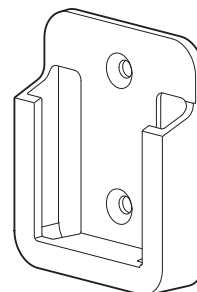
■付属品

- リモコン:1台
(操作方法は8ページ参照)

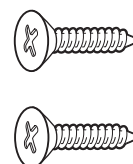


※電池がセットされています。

- リモコンホルダー:1個



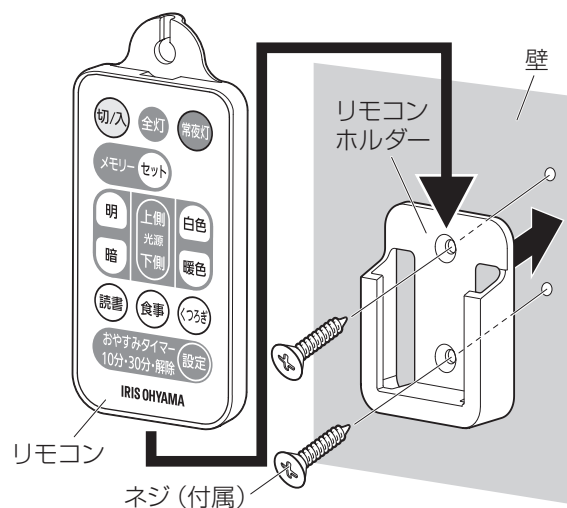
- 木ネジ:2本



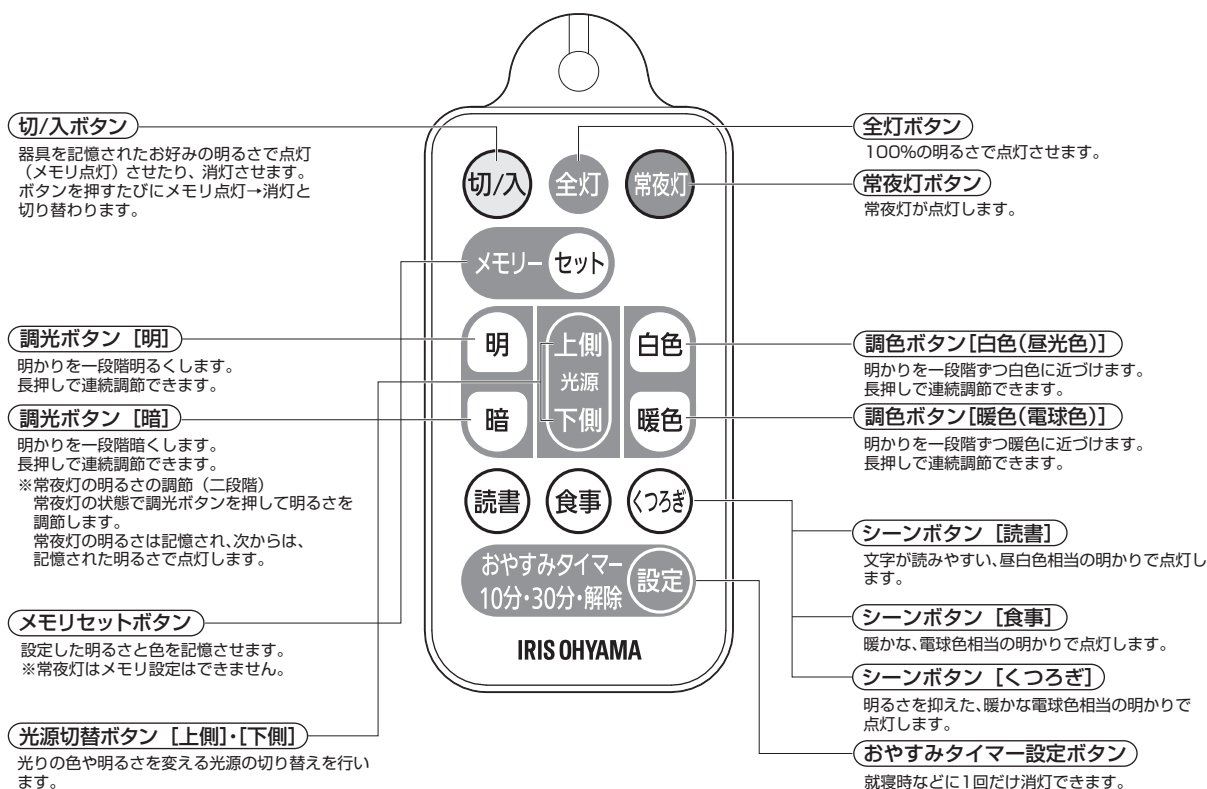
■リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納が出来ます。

(※収納した状態では操作しないでください。)



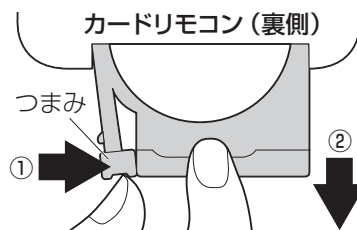
■ リモコンボタンについて



■ 電池の入れかた

● 電池の外しかた

カードリモコンを裏がえし、つまみを①方向に押しながら、電池ホルダーを②方向に引き出します。

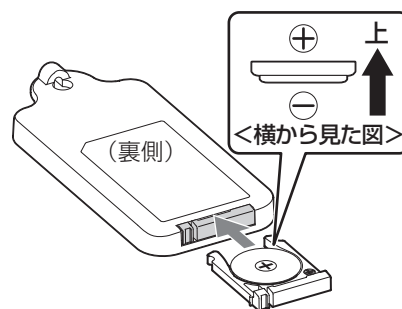


● 電池の入れかた

新しい電池を正しい向きに電池ホルダーにセットし、リモコン本体に差し込んでください。

※電池の裏表を間違えないでください。

※電池が消耗したら、市販のボタン電池CR2025をお買い求めください。



ご使用前に電池の保護シートを取り外してください。

※保護シートは電池ホルダーを引き出してから取り外してください。

（電池ホルダーを引き出さずに保護シートだけを引き抜くと、保護シートがやぶれるおそれがあります。）



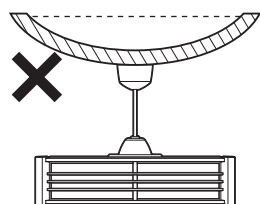
注意

製品に最初から付属している電池はテスト用のため、新しい電池に比べて寿命が短い場合があります。リモコンが動作しにくくなった場合は新しい電池と取り替えてください。

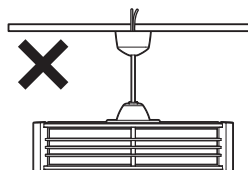
各部の名称 つづき

● 次のような場所には取り付けない

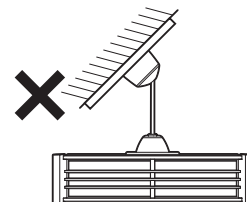
器具は天井取り付け専用です。
指定以外の場所に器具を取り付けると、
火災・感電・落下によるけがの原因となります。



簡単にたわむ天井



補強のない薄い天井
(ベニヤ板、石こうボードなど)



傾斜天井

● 次のような配線器具には取り付けない

火災・感電・落下によるけがの原因となります。
配線器具の交換は、販売店・工事店にご依頼ください。
(配線器具の交換は資格が必要です)



配線だけのもの



アウトレットボックスのもの



電源端子露出



破損、またはグラつくもの

ご使用についてのお知らせ

- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- きわめて近くにあるリモコン機器（エアコンなど）の、リモコンが動作しにくくなる場合があります。
- LED光源は照明内に組み込まれているため、交換できません。
- LED光源にはバラツキがあるため、同じ型式の商品でも光の色や明るさが異なる場合があります。
- 周囲の温度が高い場合や、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

安全上の注意

●安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

※ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
※配線器具の交換は有資格者による電気工事が必要です。資格のない方の工事は法律で禁止されています。
※ここに示した「警告」または「注意」項目は、お使いになる方や周囲の方々への危害防止および財産の損害防止を目的としたものです。いずれも安全に関わる重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」



しなければならない「指示」



一般注意を促す

警告

 改造	器具を改造したり、部品を交換しない 器具落下・感電・火災などの原因になります。	 必ず実施	器具の取り付けは確実に 落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に行ってください。
 調光器	調光器を使用しない 破損や発煙の原因になります。 「入・切」専用 交換		異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
 可燃物	可燃物で覆ったり、被せたり、近づけない 火災の原因になります。		交流100Vで使用する 火災・感電の危険がありますので、定格電圧以外では使用しないでください。 清掃・取り付け・取り外し時は必ず電源を切る 感電の原因になります。

注意

 直視禁止	LED光源を直視しない 目の傷みの原因になる場合があります。	 禁止	温度の高い場所で使用しない 火災の原因になりますので、高温の場所へは本器具を設置しないでください。
 接触禁止	点灯中・消灯直後は、器具に触れない やけどの原因になる場合があります。		屋外や湿気の多い場所で使用しない 故障や感電の原因になりますので、屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。
 禁止	破損した器具は使用しない 落下してけがの原因になります。 破損した場合は修理に出してください。		温度が高くなる機器を近くに置かない 器具故障の原因になります。 以下のような設置場所は避けてください。 ・エアコン吹き出し口近くへの設置 ・真下に発熱機器の設置（ストーブ・コンロ等）
	薬品を使用しない 器具やカバーの変形、火災の原因になります。 殺虫剤、カビ取り剤などをかけないでください。	 必ず実施	年に1回は自主点検を実施する 長期間の連続使用による発煙・発火・感電等の事故を防ぐため、定期点検を実施してください。 （裏表紙参照） 設置後8～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。 ※参考使用条件:周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。 （JIS C8105-1解説による）
	器具を水洗いしない 火災・感電の原因になります。 水につけたり、かけたりしないでください。 （10ページ参照）		

取り付け

●安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

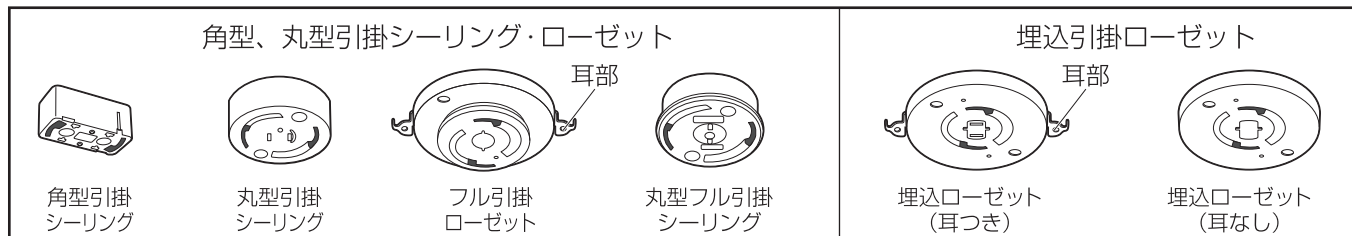
1、天井についている配線器具(引掛シーリング)を確認する

下図のような配線器具にはすぐに取り付けできます。



注意

- 高所での作業になります。
- 必ず足元の安全を確保してから行ってください。

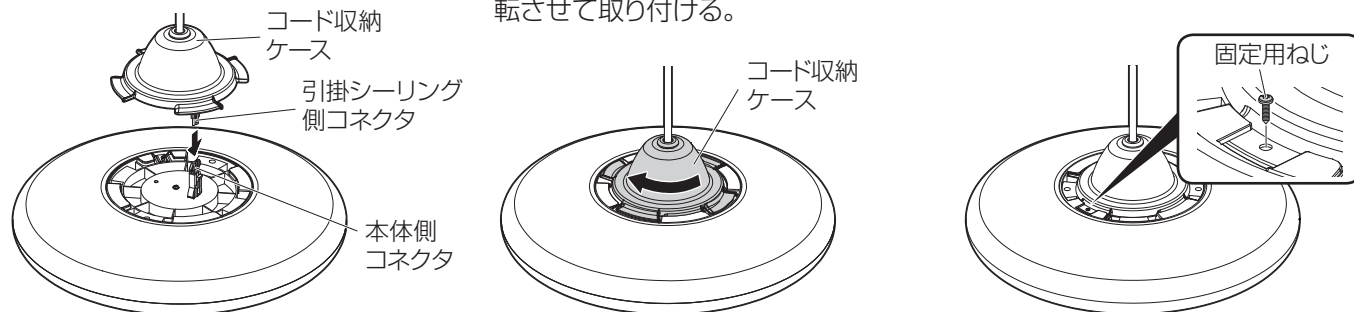


※上図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けができません。電気店、または工事店に依頼してください。

※一般の方の工事は法律で禁止されています。

2、本体にコード収納ケースを取り付ける

- ① 引掛シーリング側のコネクタを本体側のコネクタに接続する。
- ② ねじ穴を確認し、コード収納ケースを本体にセットし、矢印の方向に回転させて取り付ける。
- ③ コード収納ケースと本体のねじ穴を合わせ、固定用ねじで止める。



3、コードの長さを調節する

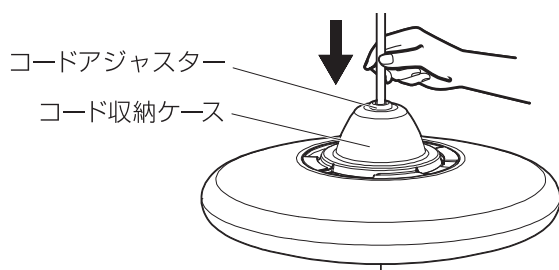
配線器具に取り付ける前にコードの長さを調節します。

コードの長さを調節する時は、やわらかい布などの上にライトを置いて調節してください。

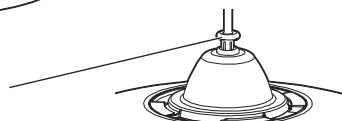
(固い床の上などで行うと、床や本体が傷つく原因になります。)

短くする

コードを、コード収納ケースのコードアジャスターの中へ押し込む

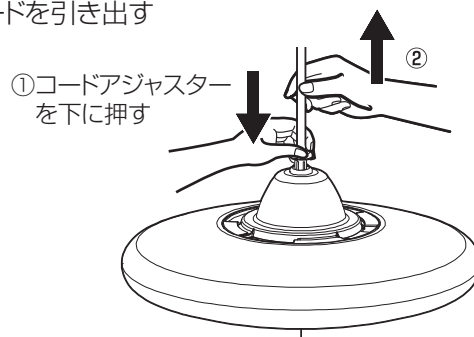


コードの長さを調節したら、コードアジャスターを上引き上げ、コードを固定します。

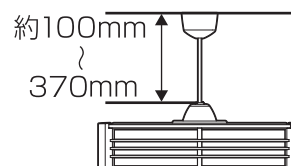


長くする

- ① コードアジャスターを下に押しながら、
- ② コードを引き出す



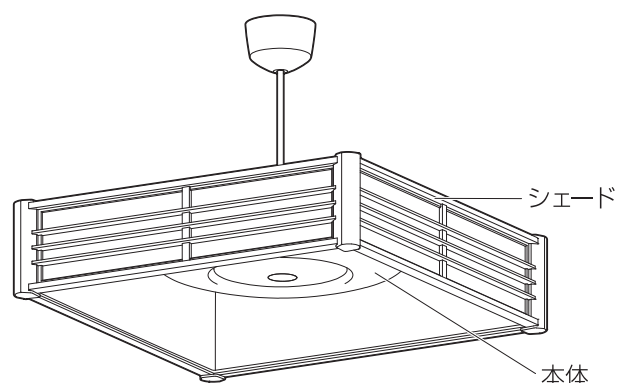
コード調節可能範囲



注意

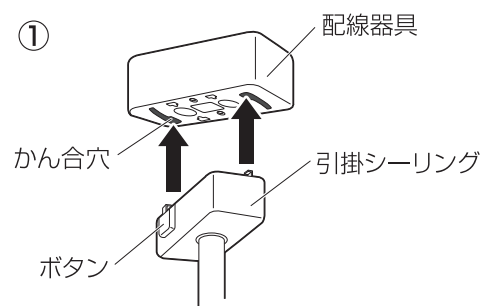
- コードを固定したら、一度コードを上引き上げ、確実に固定されていることを確認してください。
- コードアジャスターが斜めになっていると、本体が傾くことがありますので、コードアジャスターは水平になるように調節してください。

4、シェードを本体にかぶせる

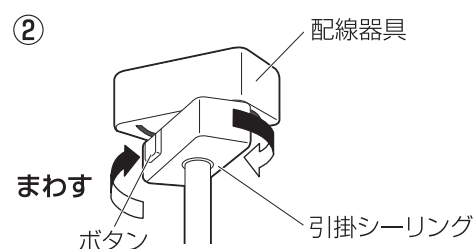


5、天井の配線器具に、引掛けシーリングを取り付ける

①配線器具のかん合穴に、引掛けシーリングの引掛金具を差し込んでください。

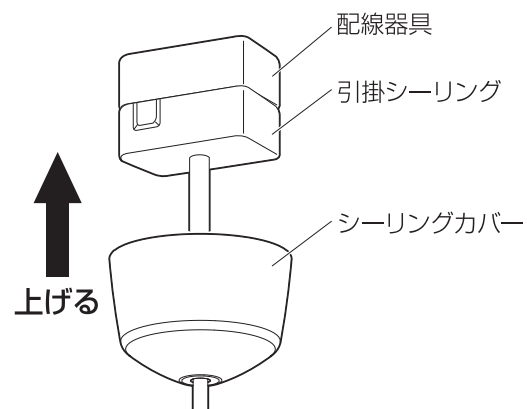
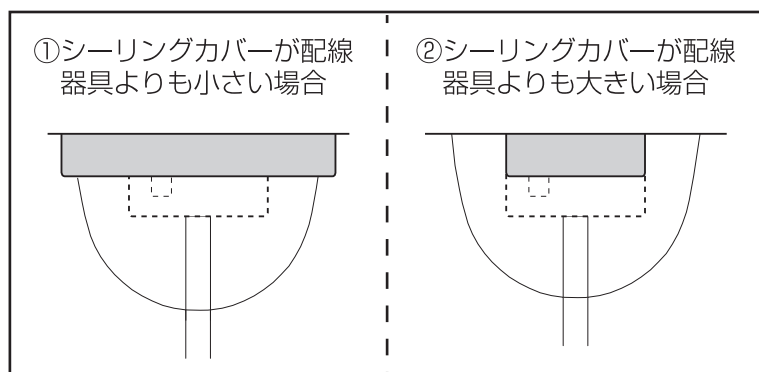


②引掛けシーリングを右に回し、配線器具に取り付けます。



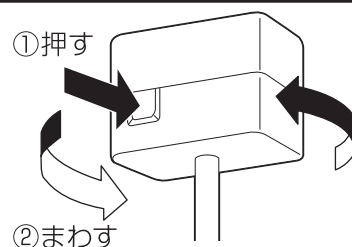
③取り付け後、引掛けシーリングのボタンを押さずに左に回し切り、外れないことを確認してください。

6、シーリングカバーを引き上げる



取り外しについて

- ①引掛けシーリングのボタンを押しながら
- ②引掛けシーリングを左に回し、取り外します。

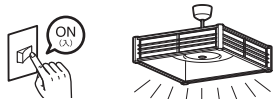


明かりをつける

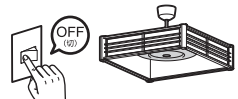
壁スイッチで操作する

●壁スイッチで明かりをつける

壁スイッチON：再現点灯
壁スイッチを切る前の明かりを再現します。

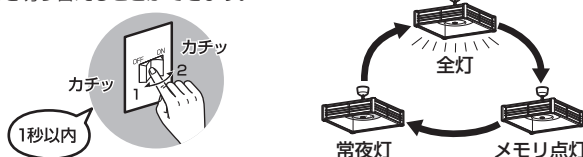


壁スイッチOFF：消灯
消灯します。



●壁スイッチで点灯状態を切り替える

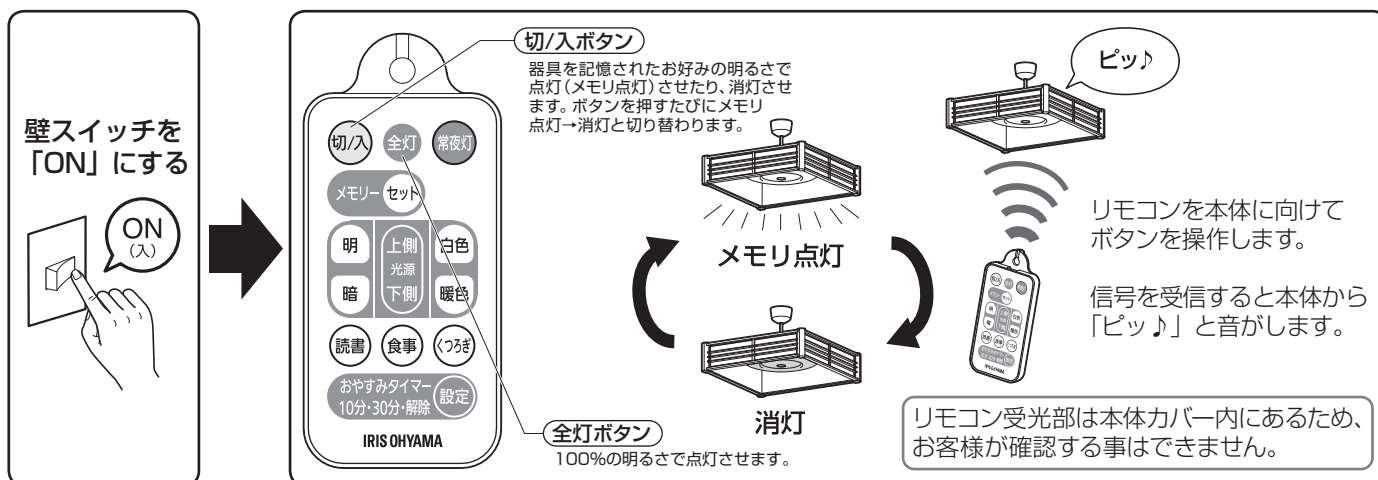
壁スイッチをONにした状態で、短く（1秒以内）スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。



- 壁スイッチをONにしても点灯しないときは、壁スイッチを短く（1秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。
- 1個の壁スイッチで2台以上の器具を操作することはおやめください。同時に切り替わらない場合があります。

リモコンで明かりをつける

リモコンで明かりをつける場合には、壁スイッチをONの状態にしてください。



明るさや色(光色)を変える

調節する光源[上側・下側]を選び、明るさや色を調整することができます。ボタンを押すと「ピッ」と音がします。調光・調色範囲をこえると「ピピッ」と音がします。

調光ボタン[明]

明かりを一段階明るくします。長押しで連続調整できます。

※消灯時に[明]を押すと、消灯前に調整していた光源側の色で一番暗い状態から点灯させることができます。

調光ボタン[暗]

明かりを一段階暗くし、[暗]を押していくと最終的に消灯できます。

※長押しで連続調整できます。その時は最小の明るさで「ピピッ」と止まり、その後ボタンを押すと消灯します。

光源切替ボタン[上側]・[下側]

調節する光源側をボタンを押すと選んだ光源側の調節が可能になります。

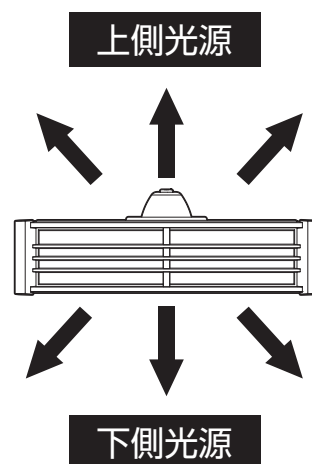
※光源の上側・下側を同時に調節することはできません。

調色ボタン[白色(昼光色)]

明かりを一段階ずつ白色に近づけます。長押しで連続調節できます。

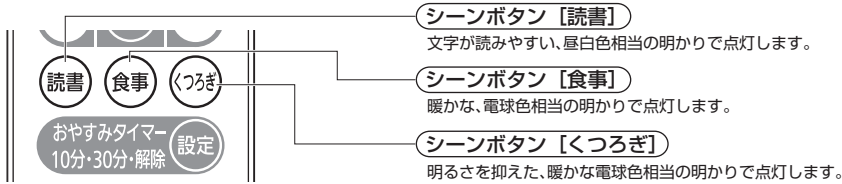
調色ボタン[暖色(電球色)]

明かりを一段階ずつ暖色に近づけます。長押しで連続調節できます。

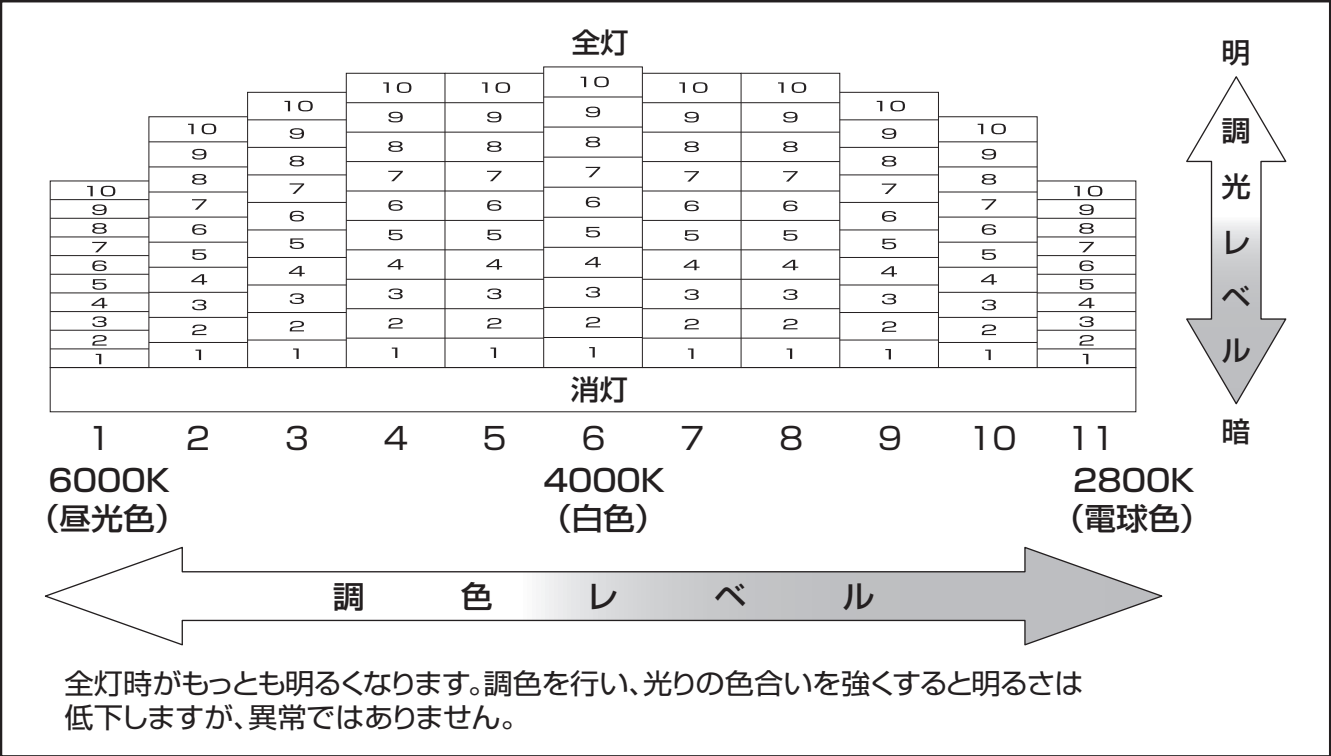


シーンに合わせて光り方を変える

本機はあらかじめ3種類のシーンに合わせた光り方をワンタッチで設定できます。



上下の明るさや色を調節することで様々なシーンに合わせたオリジナルの光り方を設定でき、それをメモリ設定することができます。



シーンの紹介

		設定されているシーン			調整して設定できる参考シーン		
シーン		読書	食事	くつろぎ	だんらん	シアター	作業
特徴		白黒のコントラストがわかりやすい昼白色で下方向を最大で照らします。圧迫感を押えるようにさわやかな昼光色の間接光で天井を明るく照らします。	食事がおいしく見える暖色系の温白色で下方向を明るめにし、空間が広く感じるように温かみのある電球色の光りで天井を明るく照らします。	夕暮れの空をイメージした電球色で天井のみ照らします。	色再現性の良い白色で下方向を照らす事で楽しさをイメージ、ゲームなどでもできる明るさです。リラックスできる電球色の光りで天井を照らし、親しみやすい空間を演出します。	電球色で天井のみを薄っすらと照らします。映画鑑賞に適した間接照明のような落ち着いた空間を演出します。	色再現性の良い白色で下方向を明るく照らし作業にも十分な明るさを確保します。くつろぎの光である電球色で天井をMAXで照らし作業に集中出来る空間を演出します。
上側光源	調光レベル	10	10	10	5	1	10
	調色レベル	1	11	11	11	11	11
下側光源	調光レベル	10	7	消灯	5	消灯	9
	調色レベル	3	10	—	7	—	6

明かりをつける つづき

■明るさや色(光色)を記憶させる(メモリ)

調光ボタン、調色ボタンで設定した明るさや色を、メモリに記憶させることができます。



メモリセットボタン

設定した明るさと色を記憶させます。
※常夜灯はメモリ設定はできません。

記憶させた明かりは、切/入ボタンを押したり、壁スイッチで点灯状態を切り替えると再現できます。

■おやすみタイマーを使う

リモコンでおやすみタイマーを設定すると、しだいに暗くなり10分または30分後に消灯します。

おやすみタイマーの設定方法 【音で設定状態がわかります】

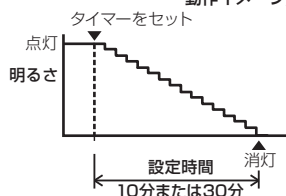


- 1回押す→「ピッ」 →タイマー10分
 - 2回押す→「ピピッ」 →タイマー30分
 - 3回押す→「ピーッ」 →タイマー解除
- ※操作は、最初の「ピッ」音が鳴ってから5秒以内に行ってください。

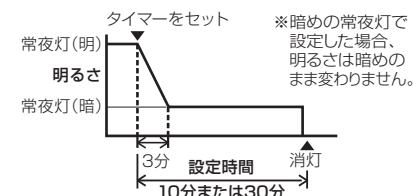
おやすみタイマーの解除方法

- 設定と同様に、続けて3回、おやすみボタンを押してください。
- おやすみボタン以外のボタンを押しても、おやすみタイマーは解除されません。

〈点灯状態からのおやすみタイマー動作イメージ〉



〈常夜灯でのおやすみタイマー動作イメージ〉



ご注意

- 壁スイッチをOFFにしたり、停電したりすると、おやすみタイマーは解除されます。
- おやすみタイマーで消灯した場合、再点灯させるには、リモコンで点灯させるか、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えて点灯させてください。

お手入れについて

※照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをすすめします。



注意

- 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。
- 消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃をしてください。
- 照明器具に水をかけたり、水の中につけたりして洗うことは絶対におやめください。火災、感電の原因になります。

次のものは使用しない



ベンジン



シンナー



みがき粉



タワシ

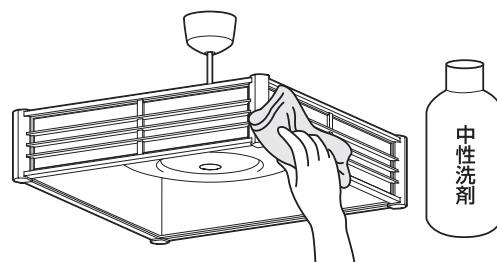


スポンジの硬い面

■照明器具

1

水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る



2

汚れ落ちを確認後、洗剤分を拭き取る
水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3

仕上げに、乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

仕様

品番	消費電力(器具)	器具光束	定格電圧	定格周波数	待機電力	サイズ※1	質量	設計寿命
PLM6DL/ DL-J (6畳用)	全灯時:38.8W 最小点灯時: 5.0W	3880lm (最大点灯時)	AC100V	50/60Hz	0.5W 壁スイッチ で消灯する と待機電力 はかかりま せん。	約 480×480 ×162mm	約2.3kg	40,000時間 LEDが点灯しな くなるか、光束 が70%に低下す るまでのいずれ か短い時間を 推定したもので す。製品の寿命 を保証するもの ではありません。
PLM8DL/ DL-J (8畳用)	全灯時:44.2W 最小点灯時: 5.0W	4420lm (最大点灯時)						
PLM12DL/ DL-J (12畳用)	全灯時:55.0W 最小点灯時: 5.0W	5500lm (最大点灯時)						

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。※1:シェードと本体を組み合わせた大きさ

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
リモコンで照明器具が 操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
調色すると暗く感じる	光の色合いによって、最大の明るさは異なります。 全灯時を100%とすると、電球色、昼光色へ最も調色した時は最大値が約60%の明るさ となりますが故障ではありません。	
壁スイッチをONしても 点灯しない	本体が「消灯」状態になっている。	リモコンで点灯させるか、壁スイッチを短く(1秒以内)切り替えることにより点灯してください。(8、9ページ参照)
操作していないのに点灯する	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯 状態を切り替える」機能が働き、点灯状態 が切り替わることがあります。	ご使用にならない時は、壁スイッチをOFF にしてください。
操作していないのに明るさが 変わる		壁スイッチを短く(1秒以内)操作して 点灯状態を切り替えるか、壁スイッチを ONにしてリモコンで切り替えてくださ い。(8、9ページ参照)

それでも解決できないときは……お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

ペンダントライト PLM6DL/DL-J PLM8DL/DL-J PLM12DL/DL-J 保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		年 月 日		保証期間 お買い上げ日より:5年間		ただし消耗品は除く	
お 客 様	ご芳名						
	ご住所 〒						
		電話() -					
※ 販 売 店	住所・店名						
	電話() -						

販売店様へ：※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げ日より5年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長期で使用的場合は商品の自主点検をおすすめします。

- スイッチを入れても、ときどき点灯しないことがある。
- 本体や配線部を動かすと点滅する。
- こげくさい臭いがする。
- 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。
- 器具取付部などに変形、ガタツキ、ゆるみなどがある。
- 器具カバリーや本体に破損がある。



ご使用を中止してください

故障や事故の防止のため電源を切り、必ず販売店や電気工事業者に点検をご依頼ください。
左記以外の不具合がある場合も、販売店やアイリスコールにお問い合わせください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居やご贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼にならない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器備品などの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール 通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール 通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日9:00～17:00、土・日・祝日9:00～12:00 / 13:00～17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは

通話料無料

0800-888-2600

Webからのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください

612974
060818-FJC-QIU-01
P070818-FJC-QIU-01